WEB 公開用
（出願には使用できません）

令和6年度学生募集要項

産業技術専攻科

［応用短期課程］

産技短
IIT Iwate Industrial Technology Junior College
岩手県立産業技術短期大学校

◆裏表紙に「**産業技術短期大学校体系図**」を掲載しています。

産業技術専攻科で学ぶこと

産業技術専攻科では、「なぜこうなるのか？」、「どうすれば最良か？」など、ものづくりの見方・考え方を基本から教育し、以下のような能力を持ち、理論に基づいて合理的に仕事をこなせるリーダー的人材を育成します。

①　自分自身から行動できる
②　課題にチャレンジし、やりぬくことができる
③　生産工程の上流から下流に沿って、どこの何が問題か分析できる

カリキュラムは、固有技術を土台に大きく２本の柱から構成されます。

一つ目の柱：　生産管理・品質保証技術

生産システムの効率化や厳しい品質要求に対応していくための改善手法として、**ＩＥ、ＱＣ、ＶＥ、ＴＱＭ/ＴＰＭ**に加え、**「５源主義」**[注]という手法を取り上げ、実際の生産現場を事例として、その具体的な活用法を実践することにより、**改善力と開発力**を養います（**管理技術**の修得）。

注）ものづくりの工程において、設計前の「企画・開発」（源流と呼ぶ）まで遡り、５つのステップ（①三現主義による現物の科学的分析、②動作メカニズムの部品・機能展開による分析・理解、③最適条件抽出実験、④工程能力の算出による効果の確認、⑤管理図による傾向管理）を踏んで分析・改善する手法

二つ目の柱：　オーダーメイドカリキュラム

企業と連携した共同人材育成プログラムです。個々の学生について、その連携企業の生産現場が抱える課題の解決を**研究テーマ**とし、**生産現場力**を養います。

土台となる固有技術

講師陣には**企業の第一線の方**や**岩手大学理工学部の先生**も加え、広い専門分野の専門学科、専門実技により，**固有技術**を教授します（**固有技術**の修得）。

産業技術専攻科のカリキュラム体系

岩手県立産業技術短期大学校 産業技術専攻科 学生募集要項

1　設置コース及び募集人員

設 置 コ ー ス	募集人員	修業年限
産業技術専攻科[応用短期課程] 生産システム技術コース	10名	１年

2　出願資格

県内で製造業を営む企業・事業所への就職を希望する者又は現に雇用されており１年間の派遣教育が可能な者で、次のいずれかに該当する者とする。

⑴　職業能力開発促進法に基づく専門課程で、機械システム系、電気・電子システム系、情報システム系を修業し卒業した者。（令和６年３月卒業見込みの者を含む。）

⑵　現に県内の製造業に雇用されている者で、高等学校又は中等教育学校を卒業後、生産工程・製造ライン設備保全等に関し２年以上の実務経験を有する者。

⑶　上記に掲げる者と同等以上の職業能力を有すると認められる者。

3　試験等日程

	出願期間	試 験 日	合格発表
第１期	令和５年５月29日(月) ～６月16日(金)〔消印有効〕	令和５年６月28日(水) (※8時50分までに試験会場入室)	令和５年７月５日(水) 午前10時
第２期	令和５年11月13日(月) ～11月27日(月)〔消印有効〕	令和５年12月８日(金) (※8時50分までに試験会場入室)	令和５年12月15日(金) 午前10時
第３期	令和６年２月５日(月) ～２月21日(水)〔消印有効〕	令和６年３月１日(金) (※8時50分までに試験会場入室)	令和６年３月６日(水) 午前10時

※ 合格者が入学定員に満たない場合は、第４期入学試験を実施することがあります。

4　出願手続

⑴　出願方法

出願関係書類を取りそろえ、郵送又は持参してください。

郵送の場合は、必ず簡易書留郵便としてください。

※出願書類を持参する場合の受付時間は、午前８時30分から12時、午後１時から午後５時までです。
（土曜日、日曜日、祝祭日は受け付けません。）

⑵　出 願 先

〒028-3615　岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1

岩手県立産業技術短期大学校　事務局（教務担当）

⑶　出願書類等

1	入学願書・受験票	・所定の用紙に必要事項を志願者本人が記入し、写真をそれぞれに貼り付けること。（写真２枚：縦４ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙ×横３ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙの長方形） ・入学検定料として、**岩手県収入証紙**（18,000円分）を裏面に貼り付けること。 ※平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波により甚大な被害を受けたと認められる方、若しくは、新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響に起因する経済的事情によって、修業が困難になったと認められる方については、入学検定料が免除となる場合がありますので、岩手県収入証紙を貼付せず、事前にお問い合わせください。
2	卒業(見込)証明書	・最終卒業（見込みを含む。）学校長が作成（証明）し、封印したもの。 ・ただし、令和６年３月に卒業見込みの者は、卒業見込証明書。
3	健康診断書	・出願前３カ月以内に受診したもので、所定の用紙により作成し、封印したもの。 ・ただし、岩手県立産業技術短期大学校を令和６年３月に卒業見込みの者は不要。 ・また、現に県内の製造業に雇用されている者で、所属企業において定期的な健康診断を受診している場合は、当該健康診断の結果通知等をこの診断書に代えて提出することが可能（封印不要）。
4	推薦書	・所定の用紙により出願者を雇用する事業主が作成し、封印したもの。 ・ただし、**２出願資格**の⑵に該当する者のみ。
5	受験票送付用封筒	・定型封筒に出願者の住所、氏名及び郵便番号を記入し、第１期出願者は404円分、第２期・第３期出願者は434円分の切手（簡易書留料金）を貼り付けること。

注１）岩手県収入証紙は、県合同庁舎売店、市町村役場等で購入できます。なお、消印はしないでください。
※収入証紙紙販売所は、岩手県庁ホームページを参照してください。
（https://www.pref.iwate.jp/kensei/tetsuzuki/shoushi/1012326.html）

⑷　出願上の注意事項

①　提出された書類及び入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

②　提出書類に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、入学決定後であっても入学を取り消すことがあります。

③　当校のカリキュラムでは、実験・実習が多く資格取得も多いため、障がいあるいは疾病等（以下「障がい等」）により受験上及び修学上心配がある場合は、下記期限までに出願先にご相談ください。

また、受験上の特別な配慮が必要になった場合には、速やかに出願先に連絡してください。

期限までの申出がない場合、受験上及び修学上の配慮を行うことが難しくなることがあります。日常生活において使用している補聴器、車椅子等を持参しようとする場合も、申出が必要です。

障がい等の程度によっては、受験上の特別措置（障がい等の程度に応じ、例えば、試験時間の1.3倍延長、別室での受験、車椅子での受験等）を行うことがあります。

また、事前相談期限後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の特別な配慮が必要になった場合には、速やかに出願先に連絡してください。なお、事前相談期限までに申出すべき内容であった場合、申出が試験直前で直ちに対応ができないようなものについては、希望する配慮が行えない場合があります。

第１期	令和５年５月19日(金)
第２期	令和５年10月13日(金)
第３期	令和６年１月５日(金)

⑸　受験票の送付

受験票は、入学願書を受理した後、出願者に送付します。

なお、受験票が各試験日の３日前までに到着しない場合は、出願先に問い合わせてください。

⑹　個人情報の取扱い

出願に伴い提出いただいた個人情報については、個人情報保護条例（平成13年岩手県条例第７号）に基づき、入学者選考を目的として使用するものでありこれ以外に使用することはありません。

５　入学選考

⑴　試験会場

岩手県立産業技術短期大学校（岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1）

⑵　試験科目、時間割及び配点等

試験科目等	時　　間	配点	備　　考
入 試 説 明	8：50～		受験上の注意確等説明
小論文試験	9：00～10：30（90分）	50 点	1,200 字程度
面 接 試 験	10：50～	50 点	一人当たり 20 分程度

⑶　受験上の注意事項等

①　自然災害、悪天候等により指示された時刻までに試験会場に到着できない場合は、受験票に記載してある「当日の連絡先」まで連絡してください。

②　受験票、筆記用具を持参してください。

③　試験中、机の上に置くことができるものは、受験票、鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、時計（計算機能や情報端末機能等がないもの）、ティッシュペーパー（袋等から中身だけを取り出したもの）、目薬だけです。

④　携帯電話、スマートフォン、電子辞書等の電子機器類は使用できませんので（電子機器類については電源を切り）、試験が終了するまでカバン等に収納し座席の下に置いてください。指示に従わない場合は、不正行為とみなされる場合がありますので注意してくだい。

⑤　試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。

⑥　試験開始後は、試験終了まで退室を認めません。ただし、体調不良等やむを得ない場合の一時退室を除きます。

⑦　次のことをすると不正行為となることがあります。

不正行為と認められた場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以降の受験はできなくなります。また、当該年度における当校のすべての入学試験の結果を無効とするとともに、当該年度における当校のすべての入学試験の受験を認めません。

ア　カンニングをすること（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の解答用紙等を見ること。他の受験者から答えを教わること等）。

イ　試験開始の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。

ウ　試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

エ　試験時間中に携帯電話等の電子機器類を身に付けていること。

オ　試験会場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

カ　試験会場において、監督員等の指示に従わないこと。

キ　その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

⑧　試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督員等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により学校医その他の医師において、感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

⑨　自然災害や不測の事態等により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると当校が判断した場合、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について当校は責任を負いません。これらの対応措置を講じる場合は、岩手県立産業技術短期大学校ホームページ（https://www.iwate-it.ac.jp/）に掲載しますので、確認してください。

６　合否判定

合否は、試験結果と提出された書類をもとに総合評価して決定します。

７　合格発表

⑴　方　法

①　合格者には、郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を岩手県立産業技術短期大学校矢巾キャンパス正門玄関に掲示します。

②　岩手県立産業技術短期大学校ホームページ（https://www.iwate-it.ac.jp/）に合格者受験番号を掲載します。

③　合否の問い合わせには、一切応じません。

⑵　開示請求

試験結果については、個人情報保護条例（平成13年岩手県条例第７号）に基づき、次のとおり口頭による開示請求を行うことができます。

①　請 求 先

岩手県立産業技術短期大学校　事務局（教務担当）

②　受付期間

合格発表の日から１カ月間

ア　第１期：令和５年７月５日(水)～令和５年８月４日(金)

イ　第２期：令和５年12月15日(金)～令和６年１月15日(月)

ウ　第３期：令和６年３月６日(水)～令和６年４月５日(金)

③　受付時間

午前９時（合格発表の日は午前10時）から12時まで、午後１時から５時まで

（土曜日、日曜日及び祝祭日は受け付けていません。）

④　請求方法

受験票を提示して開示請求をしてください。請求できる方は受験者本人に限ります。

⑤　開示内容

受験者本人の小論文及び面接の得点のみを口頭にて開示します。

８　入学手続等

合格者は、入学関係書類を取りそろえ、持参又は郵送により手続きしてください。
期限までに入学手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

⑴　手続期間等

①　第１期及び第２期：令和６年２月13日(火)～２月29日(木)［午後５時必着］
②　第３期：　　令和６年３月８日(金)～３月13日(水)［午後５時必着］
（持参する場合の受付時間:午前8時30分から12時まで、午後1時から午後5時まで(土曜日、日曜日、祝祭日は受け付けていません。)）

⑵　提出書類等

合格者に対して送付する「入学手続きについて」に記載
（第１期及び第２期：令和６年２月８日(木)、第３期：令和６年３月６日(水)送付予定）

９　不測の事態（自然災害等）が発生した場合の情報提供

不測の事態（自然災害等）が発生した場合、岩手県立産業技術短期大学校入学試験の実施に関する情報提供は、当校ホームページにより行いますので、受験の前に確認してください。
(https://www.iwate-it.ac.jp/)【「岩手県立産業技術短期大学校トップページ」→「お知らせ」】

＜参　考＞

１　学 費 等

⑴　**入 学 料**（※令和６年４月１日(月)以降、入学式当日までに岩手県収入証紙により納入）

67,700円（令和５年度実績）

⑵　**授 業 料**（※入学後に納入通知票により金融機関で納入）

年額 390,000円〔前期(４月) 195,000円、後期(10月) 195,000円〕（令和５年度実績）

（授業料については、在学中に改定される場合があります。）

⑶　**その他の経費**（①は入学手続期間中納入、②は入学後納入）

①　職業訓練生総合保険料 8,550円、後援会・同窓会費等の諸会費 30,500円（令和５年度実績）

②　教科書、実習服、各種用具の購入費

２　奨 学 金（技能者育成資金）

当校は、日本学生支援機構の奨学金制度の対象校ではありませんが、厚生労働省が所管する技能者育成資金融資制度の対象校となります。この技能者育成資金は、成績要件及び所得要件が一定の支給要件を満たした学生に対して有利子で融資する制度です。

【融資金額（令和５年度入学生）】

・自宅通学者：　年額600,000円　　・自宅外通学者：年額690,000円

３　学 生 寮

通学が不便な学生のために学生寮があり、全室個室となっています。各室には、机、ベッドなどが整備され、勉学・ゆとり・憩いの場としての環境が整っています。

令和５年度の寮費等は、次のとおりです。

⑴　寄 宿 舎 料　　月額　4,300円（県に納付）

⑵　自 治 会 費　　月額 10,000円（学生寮自治会に納付）
（光熱水費等）

⑶　食　　費　　実費（朝・昼・夕　３食で1,300円程度）

	男子寮	女子寮
矢　巾	39 室	30 室

４　試験会場の案内

試 験 会 場	岩手県立産業技術短期大学校
所　在　地	岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1
交 通 機 関	ＪＲ東北本線　矢幅駅から徒歩15分
当　日　の 連　絡　先	TEL.　019-697-9088（代表） FAX.　019-697-9089

産業技術専攻科　小論文試験出題テーマ

＜年度：試験実施年度＞

○　令和２年度（第２期）　※第１期試験は未実施

最近の経済や技術的なトレンド等の社会情勢から「これからのモノづくりに必要とされる知識及び技能・技術」について普段考えていることを自由に述べてください。また、それを踏まえて「オーダーメイドカリキュラム」で取り組みたいテーマを挙げ、その抱負を1,200字程度で記述してください。

○　令和２年度（第３期）

あなたが考える「企業に必要とされる理想の人材像」について述べてください。そして、その理想像と、現在持ち合わせている知識、技能、技術との差（ギャップ）をどのようにして克服（修得）したいと考えますか。

産業技術専攻科のカリキュラムの柱である“オーダーメイドカリキュラム”と関連付けて、1,200字程度で記述してください。

○　令和３年度（第２期）　※第１期試験は未実施

専門課程で身に付けた知識、技能、技術の中から自分の”強み”と言えるものを挙げ、“産業技術専攻科”においてその”強み”をどのように活かし、企業連携による“オーダーメイドカリキュラム”を実行したいと考えるか抱負を1,200字程度で記述してください。

○　令和３年度（第３期）

産業技術専攻科では、企業と連携して、生産工程で生じる様々な課題を研究テーマとして採り上げ、課題解決や課題達成に向けた生産現場力を養う「オーダーメイドカリキュラム」に取り組みます。そこで、「オーダーメイドカリキュラム」として取り組みたいと考えているテーマを挙げ、それに対する抱負を1,200字程度で記述してください。

○　令和４年度（第１期）

産業技術専攻科に入学して、どのような技術を学びたいと思っていますか。また、修得した技術を就職先企業（または派遣元企業）でどのように活かしていきたいと考えていますか。1,200 字程度で述べてください。

○　令和４年度（第２期）

これまでに身に着けた知識、技能、技術のうち、自分の“強み”と言えるものを挙げ、産業技術専攻科のオーダーメイドカリキュラムで、その“強み”をどのように活かして取り組みたいと考えますか。1,200 字程度で述べてください。

○　令和４年度（第３期）

岩手県では自動車関連産業及び半導体関連産業の集積促進に加え、医療機器産業や IT 産業の振興に力を入れています。今後、岩手県のものづくり産業が成長するために必要なことは何だと考えますか。技術者の観点から 1,200 字程度で述べてください。

見本（A4）

令和　　年　　月　　日

岩手県立産業技術短期大学校長　様

ふりがな
氏　　名

生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日
男・女

入　学　願　書

私は、岩手県立産業技術短期大学校 産業技術専攻科に入学したいので、関係書類を添えて願い出ます。

※１）受験番号	

現　住　所	〒　－ 同居先　　方　　電話番号　　（　　）
※2）合格通知先	〒　－ 同居先　　方　　電話番号　　（　　）

	学　校　名	学科（課程）	所　在　地	在　学　期　間	卒業・中退の別
※3）学歴	（高等学校）		〒　－ 電話　　（　　）	自　　年　　月 至　　年　　月	
	（最終学歴）		〒　－ 電話　　（　　）	自　　年　　月 至　　年　　月	

	事 業 所 名	職　　名	所　在　地	在　職　期　間	職 務 内 容
※3）職歴	（現在）		〒　－ 電話　　（　　）	自　　年　　月 至　　年　　月	
			〒　－ 電話　　（　　）	自　　年　　月 至　　年　　月	

○ 入学願書記入上の注意

1 黒若しくは青のインク又はボールペンを使用し、明確に記入してください。
2 ※１）受験番号は、記入しないでください。
3 ※２）合格通知先は、住所と同じ場合、記入不要です。
4 ※３）学歴・職歴は、記入欄が足りない場合は別紙に記入してください。
（様式任意）

写真貼付①
1　出願前３カ月以内に上半身、脱帽、無背景で正面から撮影したもの。
2　縦４センチメートル、横３センチメートルの長方形とし、裏面に氏名を記載すること。

入学検定料納付欄

岩手県収入証紙 18,000 円分を重ならないように、一枚ずつ枠内に貼り付けてください。

見本
（受験票はがき大）

受　験　票

※ 受験番号	
受　験　日	令和　　年　　月　　日（　　）
受験会場	岩手県立産業技術短期大学校
ふりがな	
氏　　名	

※欄は記入しないでください。

写真貼付②
1　出願前３カ月以内に上半身、脱帽、無背景で正面から撮影したもの。
2　縦４センチメートル、横３センチメートルの長方形とし、裏面に氏名を記載すること。

（切り取らないでください。）

開示請求について

個人情報保護条例に基づき、試験結果について、次のとおり口頭による開示請求を行うことができます。

1　**受付先**
岩手県立産業技術短期大学校
事務局（教務担当）

2　**受付期間**
令和　　年　　月　　日（　）合格発表の日から
令和　　年　　月　　日（　）までの１カ月間

3　**受付時間**
午前９時（合格発表の日は午前10時）から正午まで
午後１時から午後５時まで
土曜日、日曜日、祝祭日は受け付けていません。

4　**請求方法**
受験票を提示して、開示請求をしてください。
請求できる方は、受験者本人に限ります。

5　**開示内容**
受験者本人の小論文及び面接の得点を口頭にて開示します。

受験上の注意事項等

1　午前8時 50 分までに試験会場に入室してください。
2　自然災害、悪天候等により指示された時刻までに試験会場に到着できない場合は、下記連絡先まで連絡してください。
3　受験票、筆記用具を持参してください。
4　試験中机の上に置くことができるものは、受験票、鉛筆又はｼｬｰﾌﾟﾍﾟﾝｼﾙ、消しゴム、時計（計算機能や情報端末機能等がないもの）、ﾃｨｯｼｭペーパー、目薬だけです。
5　試験中は電子機器類の電源を切り、試験が終了するまでカバン等に収納してください。指示に従わない場合は、不正行為とみなされる場合がありますので注意してくだい。
6　試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。
7　試験開始後は、試験終了まで退室を認めません。ただし、体調不良等やむを得ない場合の一時退室を除きます。
8　不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。
9　時間割

区　　分	時　　間
入　試　説　明	8：50～
小　　論　　文	9：00～10：30
面　　接	10：50～

【当日の連絡先】
岩手県立産業技術短期大学校事務局
電話:019-697-9088（代表）
（※ 産技短ホームページ https://www.iwate-it.ac.jp/）

見本（A4）

健　康　診　断　書

※受付年月日		※受験番号		
ふりがな 氏　　名		生年月日	昭和 平成　　年　　月　　日	性別 男・女
現 住 所				

診　　断　　事　　項

エックス線検査	エックス線像		視力	右	・　（　・　）
	（撮影年月日） 年　　月　　日			左	・　（　・　）
			色覚		
	所見		聴力	右	
				左	

1	主な既往歴と罹患時の年齢	
2	判　定	ア　健　康 イ　要観察（入学後の健康管理上の注意事項） ウ　要治療（　　〃　　）
3	その他	

診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　　年　　月　　日　　住所(所在地)

医療機関名

医師の氏名　　印

1　令和６年３月産業技術短期大学校卒業見込の者は、この診断書を提出する必要はありません。
2　現に県内の製造業に雇用されている者で、所属企業において定期的な健康診断を受診している場合は、当該健康診断の結果通知等をこの診断書に代えて提出することができます。
3　この健康診断書は、入学願書受付前３カ月以内のものに限ります。（前項に該当する場合はこの限りではありません。）
4　※欄は、記入しないでください。
5　エックス線検査の欄については、撮影年月日を記入してください。
6　主な既往歴の欄は、該当疾患名を書き、罹患時の年齢を記入してください。
7　判定欄は、内部疾患、運動障害及び精神障害で治療を要すると認められるもの又は特に注意を要すると認められるものを記入してください。

見本（A4）

※ 受験番号	

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

岩手県立産業技術短期大学校長　様

推薦者　事 業 所 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代 表 者 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印

次の者は、岩手県立産業技術短期大学校 産業技術専攻科の出願資格を満たしていると認め、責任をもって推薦いたします。

ふ り が な		性　別	男 ・ 女
氏　　名		生年月日	昭和 平成　　年　月　日
推 薦 理 由			
記載責任者氏名	印	※	

※ 印欄は記入しないでください。

産業技術専攻科履修科目一覧（令和５年度用）

高度職業訓練応用短期課程（生産システム技術コース）

区分	履修科目		単位数	前期	後期
学科	技術外国語Ⅰ（工業英語）		2	2	
	技術外国語Ⅱ（中国語）		2	1	1
	生産管理		2		2
	品質管理		2		2
	経営管理		1	1	
	精密加工学特論		2	2	
	新素材学特論		2		2
	機械設計応用学特論		3	3	
	（1）	機械設計応用学特論	(2)	(2)	
	（2）	材料力学特論	(1)	(1)	
	電気・電子回路応用特論		2	2	
	ネットワークシステム構築特論		2	2	
	自動化システム設計特論		1	1	
	熱力・伝熱学特論		2	1	1
	流体応用学特論		1		1
実技	精密加工応用実習		2	2	
	CAD/CAM/CAE応用実習		4	4	
	計測制御システム構築応用実習		5	3	2
	（1）	計測制御システム構築応用実習	(3)	(3)	
	（2）	ディベロップメントシステム応用実習	(2)		(2)
	生産管理システム構築応用実習		8	4	4
	ネットワークシステム構築応用実習		5	3	2
オーダーメイドカリキュラム	①企業派遣者	オーダーメイドカリキュラム（企画開発研究）	30	8	22
	②新規学卒者／リカレント者	オーダーメイドカリキュラム（企業派遣実習）	15	4	11
		オーダーメイドカリキュラム（企画開発研究）	15	4	11
専門教育科目合計			78	39	39

産業技術短期大学校体系図

産技短
IIT Iwate Industrial Technology Junior College

お問い合わせ先

岩手県立産業技術短期大学校
事務局（教務担当）
〒028-3615
岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅 10-3-1
TEL. 019-697-9088(代表)
FAX. 019-697-9089
https://www.iwate-it.ac.jp/